

腕の筋力を力強くサポートする「アシストスーツ」

農家さん：株式会社フルーツのいとう園〈飯坂〉

導入機器：アシストスーツ（株式会社イノフィス製マッスルスーツ GS-ARM、マッスルスーツ Soft-Power）

栽培品目：モモ、ブドウ、リンゴ

〈ポイント〉

- ＊ブドウなど棚の作業時に腕が疲れにくい
- ＊ゴムの力で腰の負担が軽減
- ＊農家と企業が一緒になって改良する機運を

—導入しているスマート農機具について教えてください。

代表・伊藤隆徳一さん アシストスーツを2種類導入しました。一つは腕を支えるタイプ、もう一つは中腰での作業をサポートするタイプです。



アシストスーツを着てブドウ棚で作業する伊藤さん



スーツ（腕用）で上げっぱなしの腕を支える

—導入のきっかけは。

伊藤さん ブドウ棚での作業は両腕を上げっぱなしです。腕の筋力の衰えを感じていたので別メーカーのアシストスーツを使っていた時期もありましたが、重さと動きにくさがネックでした。今年2月、福島おおぞそうインター工業団地の「菊池製作所おおぞそう研究所」で最新のアシストスーツを試着する機会があり、とても軽くて動きやすかったので導入を決めました。

—どのような作業で活用していますか。

伊藤さん 腕を支えるタイプは、ブドウのジベレリン処理、房切り作業などで使います。二の腕を下から支え、高さを保てるので疲れにくくなりました。着脱のしやすさ、ばねの強さなど、個人が調整しやすい製品になればより良くなると感じます。中腰での作業をサポートするタイプは収穫物の運搬や草刈り作業で使っています。手動式草刈り機を使用する際は前傾姿勢で中腰での作業となりますが、スーツのゴムの力で腰の負担が減りました。



手動の草刈り作業でもスーツ（腰用）を活用

—今後のスマート農業に期待することを教えてください。

伊藤さん 世の中にはさまざまな農業用機械、道具があります。農家にとって使いやすいものになるよう、使い心地や課題を企業と共有して、改良したり新しい製品を生み出してく機運が高まるといいですね。

※県の「メイドインふくしまロボット導入支援補助金」対象製品です。

福島市の「菊池製作所おおぞそう研究所」で試着ができます。